

「資産形成フェスタ」in 東証アローズOnline2025

# 会社概要及び中期経営計画説明

(2026年1月期～2028年1月期)

アップコン株式会社



UPCON



01. 会社概要

02. 事業概要

03. 優位性

04. 新中期経営計画目標

05. 成長戦略



01.	会社概要
02.	事業概要
03.	優位性
04.	新中期経営計画目標
05.	成長戦略



代表取締役社長

マツドウ ノボカズ  
松藤 展和

## プロフィール

日本で初めてウレタン樹脂を使用して  
沈下修正を行った第一人者

1958年生まれ、福岡県出身

1989年1月 トラビス・パートナーズ建築事務所  
(オーストラリア法人)入社日本担当部長

1998年2月 アーキプロ建築設計事務所  
(オーストラリア法人)設立代表取締役社長

2001年7月 メインマーク・ジャパン株式会社  
(現メインマーク株式会社)設立代表取締役社長

2003年6月 当社設立  
(2004年2月有限会社から株式会社に組織変更)  
代表取締役社長(現任)



<b>企業名</b>	アップコン株式会社	
<b>本社所在地</b>	神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP東棟611	
<b>事務所一覧</b>	札幌事務所	北海道札幌市中央区北2条西2丁目3-2
	仙台事務所	宮城県仙台市青葉区本町1丁目12-12 GMビルディング3階
	名古屋事務所	愛知県名古屋市中区丸の内3-7-26 ACAビル5階
	大阪事務所	大阪府大阪市中央区南船場4丁目10番5号 南船場SOHOビル702
	福岡事務所	福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多偕成ビル2階
<b>代表者</b>	松藤 展和	
<b>設立</b>	2003年6月	
<b>資本金</b>	7,325万円	
<b>上場市場</b>	名古屋証券取引所ネクスト市場	
<b>証券コード</b>	5075	
<b>従業員数</b>	47名（2025年1月現在）	
<b>事業概要</b>	事業概要 土木工事業 ■コンクリート床スラブ沈下修正工法【アップコン工法】 ■ウレタン製土壌改良材【ナテルン】 ■農業用水路トンネル機能回復加圧式ウレタン充填工法【FRT工法】 上記工法の施工・施工管理および販売ウレタンを使った新技術の研究・開発 特許保有件数 国内11件 海外9件	

※各事務所には従業員の配置はありません。お問い合わせ専用電話の設置になります。



## 基本理念

健康第一 安全第一 家庭第一

## 経営方針

スピードと環境を重視した経営を行い、社会貢献度の高い研究・開発型企业となることを目指します。



# 沿革

- 2003年6月 アップコン有限会社を設立
- 2004年2月 アップコン株式会社に組織変更  
資本金1,000万円に増資
- 2005年11月 ISO9001認証取得
- 2006年2月 資本金2,000万円に増資
- 2007年4月 資本金3,000万円に増資
- 2008年9月 資本金3,500万円に増資
- 2008年7月 ISO14001認証取得
- 2010年1月 資本金3,800万円に増資
- 2017年2月 資本金4,300万円に増資
- 2017年5月 ISO27001認証取得
- 2019年12月 ベトナム Lac Viet社とノウハウライセンス契約書を締結
- 2021年7月 東京証券取引所 TOKYO PRO Marketに上場
- 2022年12月 名古屋証券取引所 ネクスト市場に上場**  
資本金1億188万円に増資
- 2023年4月 資本金7,000万円に減資
- 2023年5月 資本金7,325万円に増資

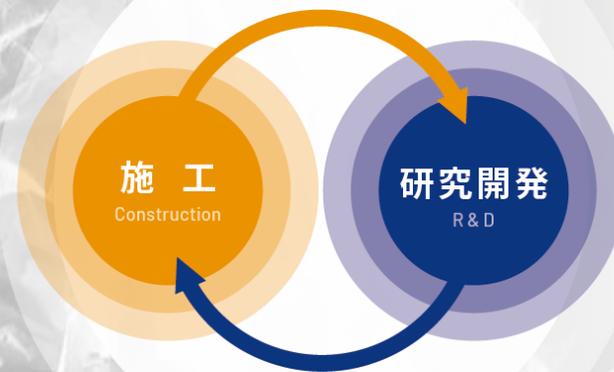


01.	会社概要
<b>02.</b>	<b>事業概要</b>
03.	優位性
04.	新中期経営計画目標
05.	成長戦略

## アップコンはウレタン樹脂を使った施工、 および研究開発で事業展開しています。

当社は、工場・倉庫・店舗や、一般の住宅などの建物において、地盤の不同沈下を原因として生じたコンクリート床の沈下・傾き・段差・空隙を完全ノンフロンのウレタン樹脂、および小型機械を用いた独自の「アップコン工法」によって修正する施工を主力事業として展開しております。

また、新たな事業展開推進のため、多数のプロジェクトを進行させ、硬質発泡ウレタン樹脂の新規応用分野への研究開発に取り組むことで、自ら市場を創りながら事業を開拓していくサイクルを目指す研究開発型企業を目指しています。

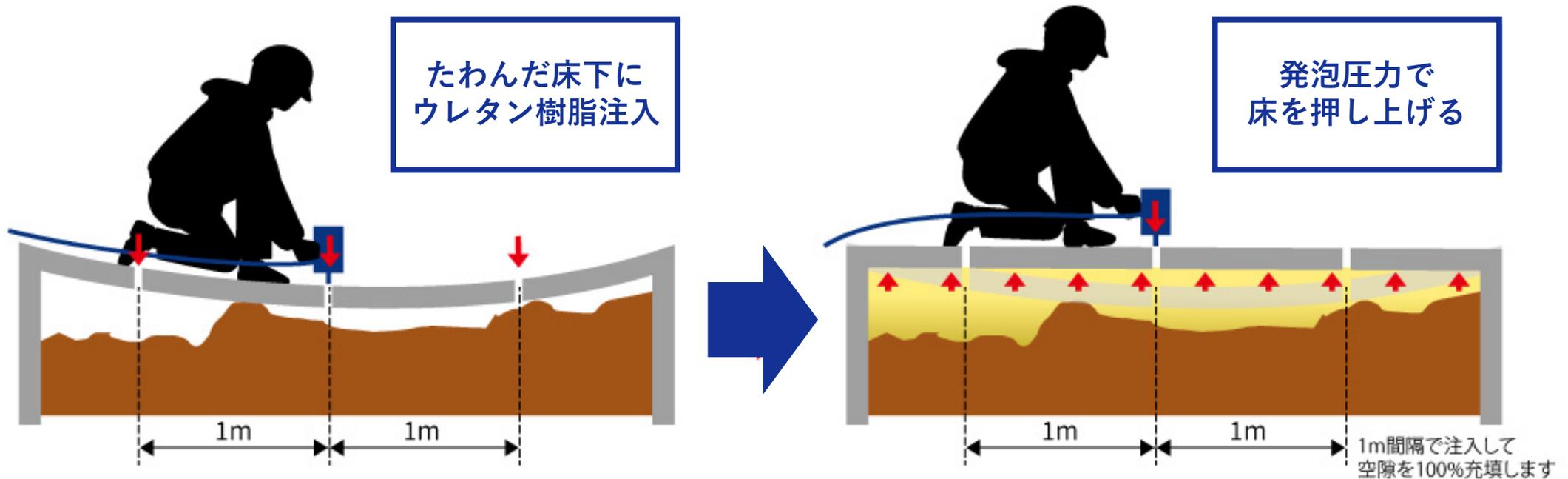


新市場の創出  
Creation of New markets

# アップコン工法

## 【コンクリート床スラブ沈下修正工法】とは

沈下・段差・傾き・空隙などが生じた既設コンクリート床に、1 m間隔で直径16mmの小さな穴を開け、ウレタン樹脂を注入します。ウレタン樹脂は、短時間で発泡し、その圧力でコンクリート床を床下から押し上げて傾きや段差などを修正します。ウレタン樹脂の注入は、既設コンクリート床の高さを計測機器で常時ミリ単位で監視しながら行い、樹脂の最終強度は約60分で発現します。床下に空隙が発生している場合、同じ方法でウレタンを注入、ウレタン自らが発泡する特性によって、狭い隙間でも入り込み空隙を充填することが可能です。



民間事業・公共事業のセグメントで沈下修正を行っております。



## 民間事業

- ・コンクリート床スラブ沈下修正工法  
(アップコン工法)

引越し不要、操業・業務を止めない工法。  
工場・倉庫・店舗・住宅など、日本全国および  
海外での沈下修正工事を行います。

工場・倉庫・店舗・住宅・事務所/海外施工等



## 公共事業

※公共インフ

- ・コンクリート舗装版補修工法
- ・農業用水路トンネル機能回復加圧式  
ウレタン充填工法 (FRT工法)

高速・一般道路、空港・港湾など日本全国の  
沈下修正および空隙充填工事を行います。  
農業用水路トンネルの維持・補修工事を行います。

道路・農業用水路トンネル・空港・  
港湾・学校・自衛隊施設等



01.	会社概要
02.	事業概要
<b>03.</b>	<b>優位性</b>
04.	新中期経営計画目標
05.	成長戦略

# 1.短工期

## コンクリート打替え工法

沈下した  
コンクリート  
撤去  
(コンクリート版破砕)

新しいコンクリート打設

- 配筋/型枠設置
- コンクリート打設
- 仕上げ/養生/  
型枠撤去など

10日以上

アップコン  
工法

アップコン工法なら、工期1/10!

※モデル施工条件  
面積:100~150㎡、  
コンクリートスラブ厚:150mm、  
最大沈下量:50mm前後

わずか1日

# 2.操業を止めない



## アップコン工法 特長

# 3.高い技術力



# 4.施工がコンパクト



# 1.短工期

## 工期は従来工法の1/10

アップコンのウレタン樹脂を使用した施工は既設のコンクリート床の取壊しや養生期間を必要としないため、従来工法と比較し大幅な工期の削減を実現します。



# 2.操業を止めない

## 操業・業務を止めずに短時間施工が可能

既設コンクリート床の取り壊しをせず修正するため、機械、ラック、荷物の移動が不要。操業を止めずに施工が可能です。操業を止めず、短工期で修正することでトータルコストの削減に貢献します。



## 3.高い技術力

### 100%自社社員による責任施工

徹底した教育を受け、経験を積んだ自社技術スタッフが責任施工。精度の高い仕上がりでお客様のお悩みを解決します。



## 4.施工がコンパクト

### 速やかに現状回復が可能

アップコンは資機材一式を搭載した施工プラント車で全国へ伺います。建物の出入り口付近に施工プラント車を配置し施工を行うため、大型プラントの設置、撤去が不要です。

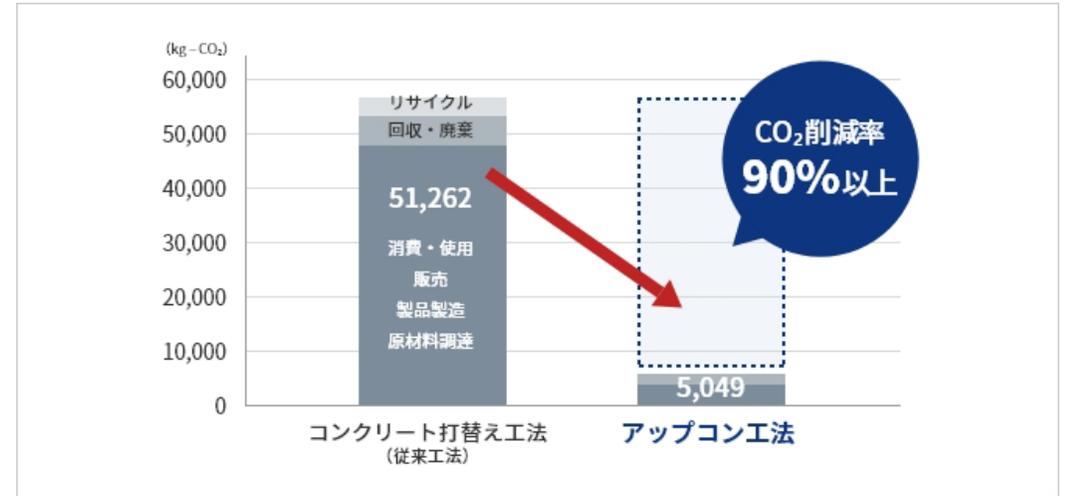




## 従来工法と比べ90.2%のCO<sub>2</sub>排出量を削減

従来工法と比較して工事に必要な材料調達から、施工過程、工事終了後の産廃リサイクル等までのライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量を90.2%削減できます。

- ・施工条件：面積1,000m<sup>2</sup>、コンクリートスラブ厚150mm、最大沈下 -70mm
- ・環境専門コンサルティング算出



## 環境に安全な材料を使用

### 完全ノンフロン硬質発泡ウレタン樹脂を使用

アップコン工法で使用する硬質発泡ウレタン樹脂は、国内の製造メーカーと共同開発したフロン・代替フロンを発生しない完全ノンフロンのウレタンです。成形後、水や海水、土中に含まれる他の物質に対して溶融しないため、土壌汚染を起こさず環境に安全な材料です。

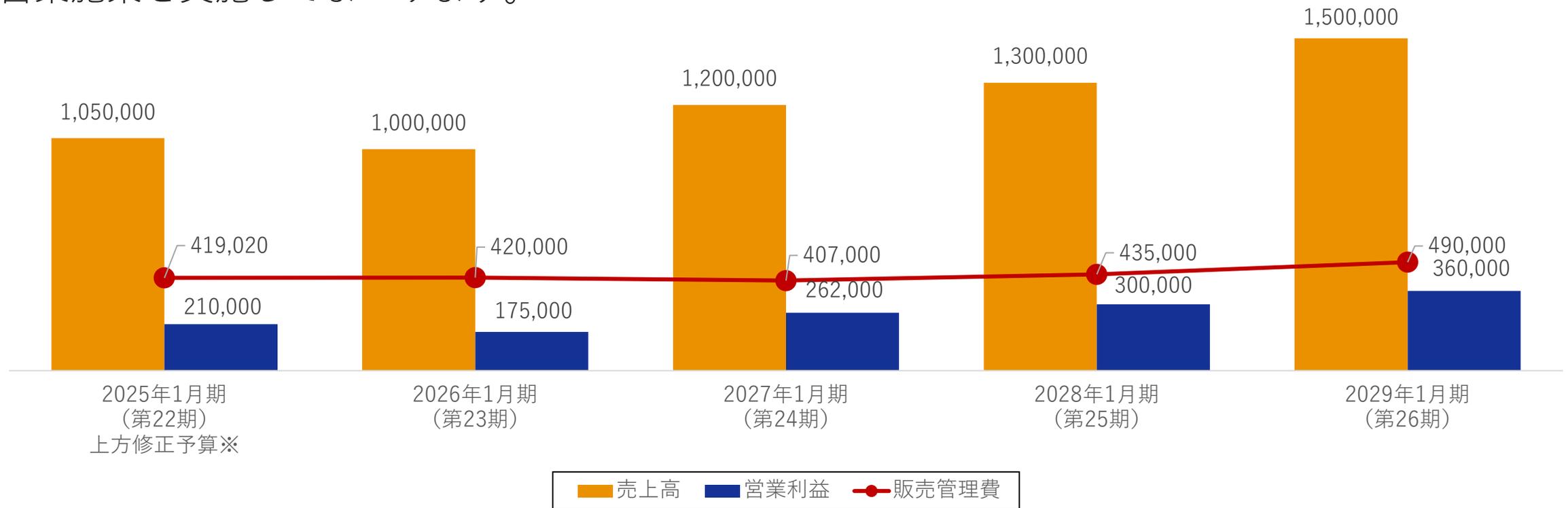




01.	会社概要
02.	事業概要
03.	優位性
<b>04.</b>	<b>新中期経営計画目標</b>
05.	成長戦略

## 2029年1月期（第26期）に売上高15億円を目指します

沈下修正工事を主な事業とする当社の2026年1月期の事業環境は、民間および公共の両分野で需要の増加が見込まれるため、営業力を強化し、知名度および認知度のさらなる向上を目指した営業施策を実施してまいります。



※今期の業績予想を2024年9月12日付で修正しております

# 新中期経営計画目標

01

## シェア拡大

次なる株式市場に向けた  
沈下修正事業のシェア拡大



02

## 研究開発

新規事業化に向けた  
研究開発への取り組みを強化



03

## 社内DX化

営業力強化に向けた  
社内システムDX化





01.	会社概要
02.	事業概要
03.	優位性
04.	新中期経営計画目標
<b>05.</b>	<b>成長戦略</b>

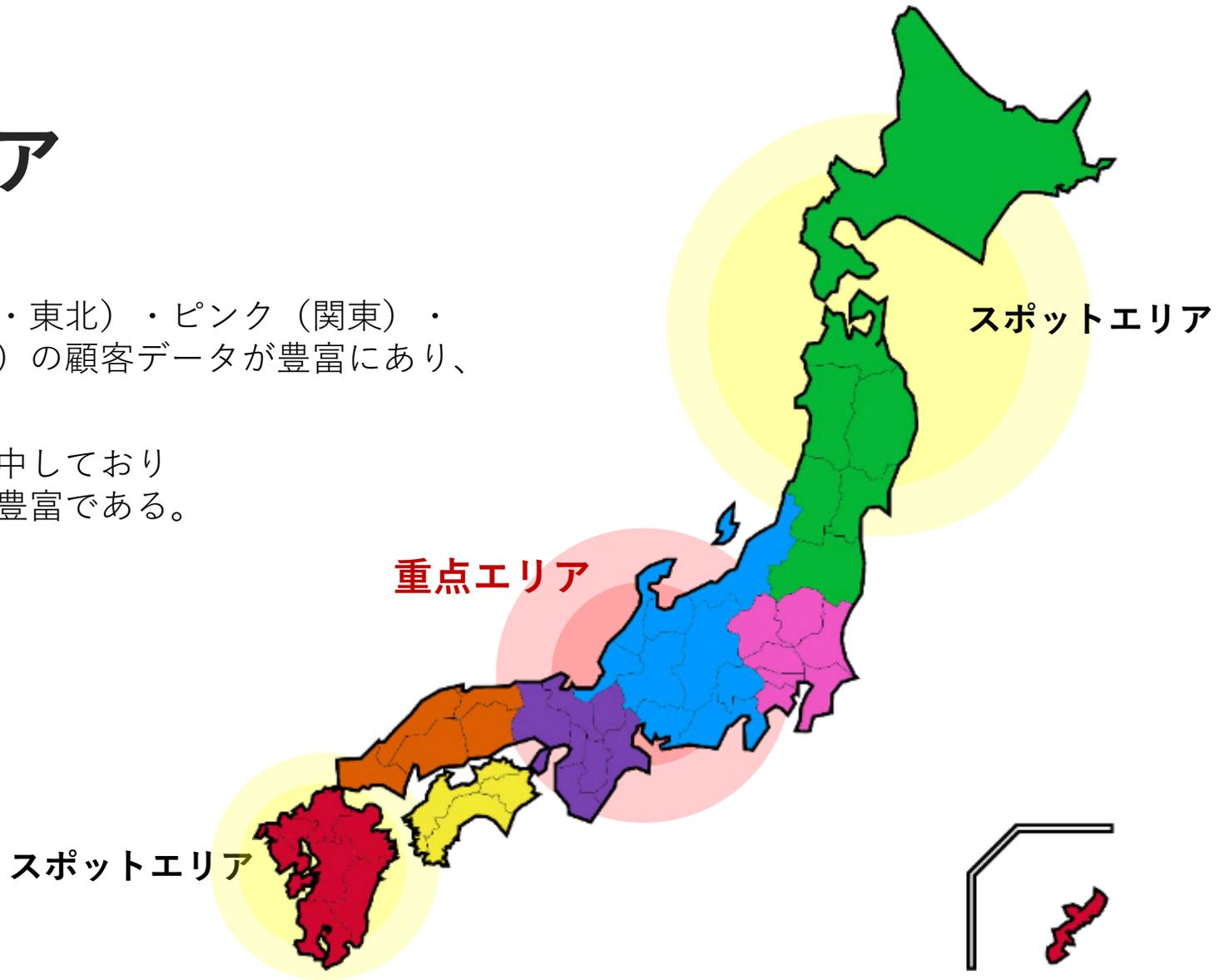


シェア拡大

# 事業重点エリア

- ▶ 当社の施工実績として緑（北海道・東北）・ピンク（関東）・青（中部）・紫（近畿）・赤（九州）の顧客データが豊富にあり、リピート率の向上が見込める。
- ▶ 比較的、軟弱地盤地帯に建物が集中しておりプラントの拠点地としての候補地が豊富である。

- 北海道・東北地方
- 関東地方
- 中部地方
- 近畿地方
- 中国地方
- 四国地方
- 九州・沖縄地方





シェア拡大

### 営業部員の増員



- ・ 営業力強化のため営業人員を増員

### デジタルマーケティングの強化



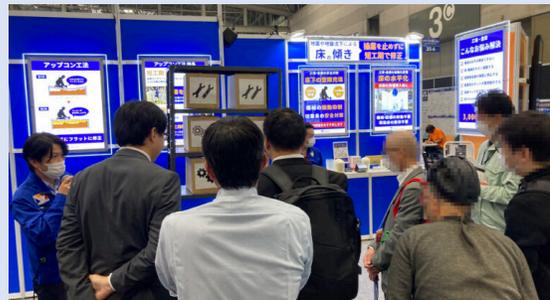
- ・ Webコンテンツの拡充
- ・ SEO対策強化

### 調査無料キャンペーンの拡大



- ・ 現地調査を無料で行う調査無料キャンペーンの実施

### 展示会出展



- ・ 新規リード獲得に向けた積極的な展示会出展

### 新聞・雑誌広告の出稿



- ・ 認知度・知名度向上を目的とした広告出稿

## グローバル展開

### Lac Viet社(ベトナム)との連携を強化 当社の専属施工会社として新たに活動を開始

- ・Lac Viet社(ベトナム)とのライセンス契約満了に伴い、当社が主体となって営業活動を行い、施工時は当社の専属施工会社として施工を行う体制を強化。
- ・北ベトナムから南ベトナムまで営業活動の拡大および展示会に出展。ベトナム全土への施工を目指す。
- ・年2回程度を目標に現地に向かい、日系コンサルおよび建設会社へのプレゼンテーションを行う。
- ・ジェトロ本部海外展開支援課とも協議し、市場調査および現地日本法人との交流機会を増やし情報収集を行う。  
営業担当者を配置し、営業力の強化を継続する。





# 研究開発プロジェクト

研究開発から早期事業化へ  
(5つの研究開発プロジェクトが進行中)





## 事業化に向けた研究開発プロジェクト

### コンクリート柱ウレタン強化工法 「頑強柱（がんきょうちゅう）」

「頑強柱」は、既設の3.5kNコンクリート柱の中空部に、補強用に開発した硬質発泡ウレタン樹脂を注入・充填することでコンクリート柱の破壊荷重を増加させ、自然災害時のコンクリート柱の倒壊を防ぐ工法です。

**既設コンクリート柱を強化**するため、撤去する必要がなく**短工期でコストを抑えながら国土の強靱化に貢献**できる工法です。



### 応急復旧工法「ダンタン」

応急復旧工法「ダンタン」は、震災時に被災して生じた道路の段差に、高強度ウレタン樹脂を吹き付けてスロープを作成し、応急的に走行を可能にする工法です。資機材一式を搭載したトラックで駆け付け、発生した段差に2液性のウレタン樹脂を吹き付けます。高強度ウレタン樹脂は、吹き付けた直後から硬化する性質を持っているため、**スロープ作成後15分で走行可能**になります。また、段差だけでなく不陸や陥没にも吹き付けて補修することが可能です。





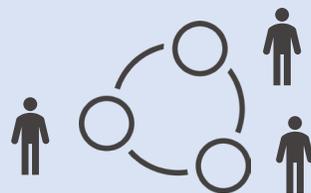
# 社内DX化の推進

## DX推進プロジェクト

- ▶ 営業支援システムを新規導入
- ▶ 社内のDX化を推進



ヒューマンエラーの削減  
帳票化の時間短縮



現場情報・  
施工ノウハウの共有



データ管理体制の強化  
機密情報漏洩の防止



経営判断に必要な  
データの蓄積と分析

**業務負担を削減し、全社横断的に経営資源を活用  
より効果的な営業活動を展開**



アップコンは「ニッポン上げろ!」を合言葉に、  
日本全国を足元から支え、  
暮らしやすい社会に貢献していきます。

## 将来の見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらの不確実性には、一般的な業外ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。